

22 ヨハネ 7 章 37-53

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

2、祭りの終わりの大いなる日、つまり祭りの最終を迎える時にイエス様は立ち上がり、大きな声で人々に呼びかけました。(37) その言葉を書き出しましょう。

・この呼びかけ（招き）のことばの真意はどのようなものだと聖書は記していますか（39a）

・現在は、この聖霊が降った時代に入っています。さて私やあなたは「わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その心の奥底から、生ける水の川が流れ出る」と言われているように、「心の奥底から、生ける水の川が流れ出る」ことを実感されているでしょうか？

3、このイエス様の呼びかけ（招き）を聞いて人々の意見は分かれ（分裂し）ました。

書き出してみましょう。

a、(40)

※「あの預言者」とは、申命記 18:15…「モーセのような預言者のことで来るべきメシヤを指している」

b、(41)

c、(41,42)

※「キリスト（メシヤ）はダビデの子孫であって、ダビデの町ベツレヘムから出るとは、ミカ 5:2

4、祭司長たちとパリサイ人たちのイエスに対する主張はどのようなものでしたか？（47-49）（52）

※彼らはイエス様が人間的には、ダビデの子孫であって、ベツレヘムで生まれたことを知らない。つまり、多くの人々は、「無知のゆえに偏見視してイエス様を見て評価してしまっている」と言えます。

これは、私たちにもよくあることではないでしょうか。よくキリスト教についてこのように言う人たちがいます。「キリスト教は西洋の宗教じゃないか。日本には日本の宗教があるんだから、それを信じていればいいんだ。」どう思いますか？キリスト教は西洋の宗教であるという先入観です。でも私たちがキリストを信じるのは、それが西洋の宗教だからとか、日本の宗教だからということではなく、それが真理だからです。それは私たちが学校で数学や物理を学ぶのと同じで、私たちが数学や物理を学ぶのはそれが西洋から来たものだからではなく、真理そのものだからです。それに日本には日本の宗教があると言う人の多くが信じている仏教は、もともと外来の宗教であって、日本古来のものではありません。ですから、こうした誤解なり偏見なりと言ったものが取り去られない限り、本当のものを知ることは出来ないのです。」

5、今日の箇所、どんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？

※ニコデモのことについて考えてみましょう。(50-52)